

Rinne Reincarnation

リンネ・リンカネーション



ino
鍋亭

inoshishi

Adult
R18 only

王子いかん！

もし今 アイギスの
神器の力を
使えば汝の体は――

作戦通りに
この戦線は放棄し
汝は撤退するのじゃ！

皆に未来を
示さなければ
ならないんだ！

いやここは
退けない！
俺は希望を！

意志で未来を変えられる
のだと体現する！

神器解ほ――

王子っ！

ガクッ



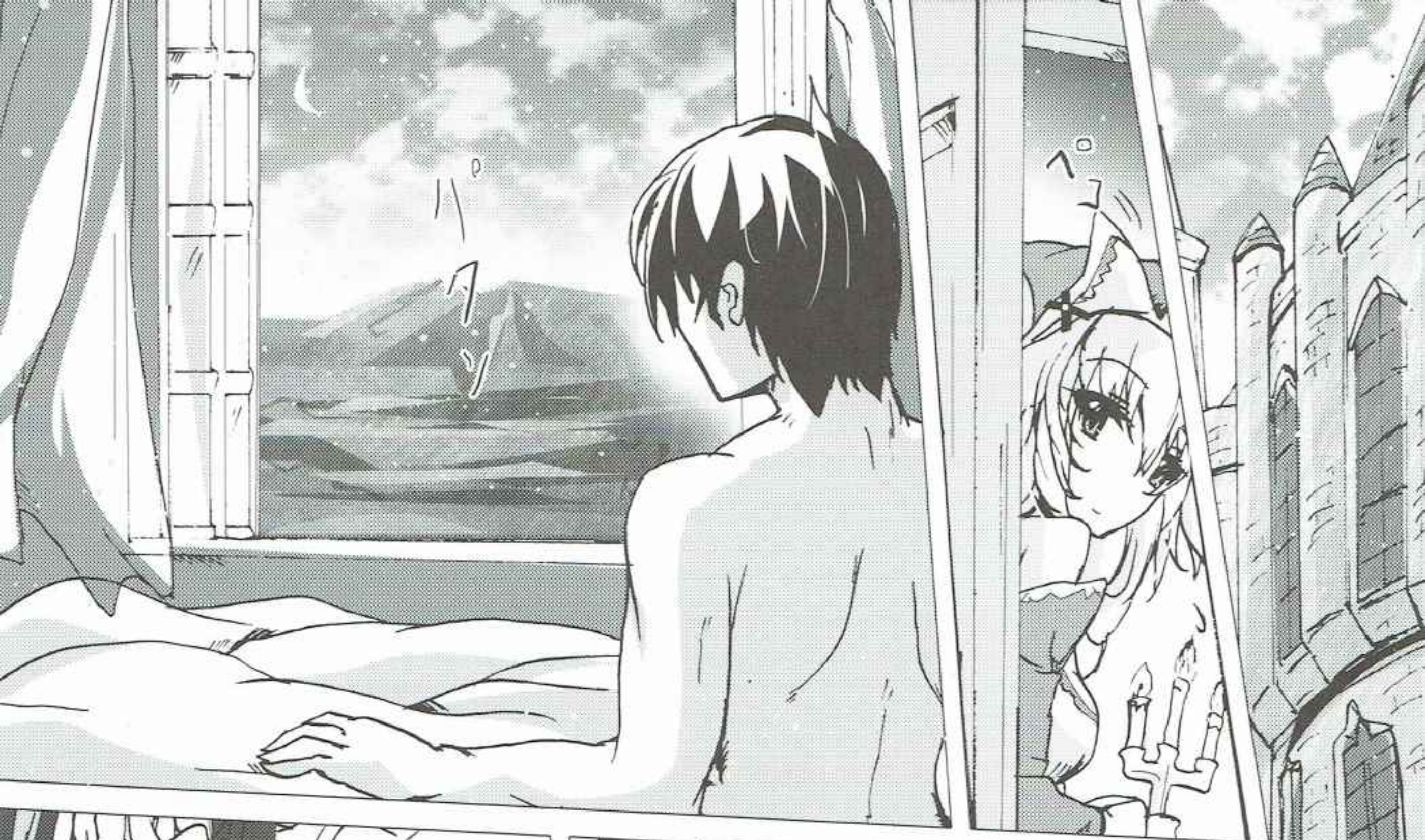
王子っ……！



動くでない王子
無理をするな

俺は…
希望を…

俺は…
俺はっ……！



王子よ 薬湯を
持ってきたぞ

吾の識る漢方に
吸血鬼ラキニア秘蔵の
大蒜入りじゃ

キィ
パタン

吾の術は 治癒師には
一籌を輸するが
漢方であれば後は取らぬ

それにしても
吸血鬼が大蒜とは
奇なものじゃな

此度の件は極度の疲労に因るものぞ
好い機会ゆえ
とっくりと養生するのじゃ

すまない…

なに 汝の敢雄は周知ゆえ
誰ひとり奇んではおらぬ
無論 吾も

違うんだ!!

皆 汝を案じつつも

見舞うのを控えておる
その心持ちを察してやる
ことじゃな

コホホ

俺は何もできなかった……!

仲間達に
未来を示せなかった!

「未来は意志で変えられる」などと
仲間には簡単に言っておいて

自分の力さえ満足に揮えず
敵も倒せず

それどころか
仲間にごうして守られ
支えられるばかりで……!

けれど俺は皆を
無明の未来へ引き連れる
わけにはいかないんだ

既知を超え

希望の光明を
この手で掴まなければ
ならない

それが
命を預けられた
俺の責務なんだ

リンネよ 刻を詠むお前が
俺に未来を語らないのは

俺達の行く末が まだ
既知の袋小路に閉ざされて
いるから……!

未来を示せてないから!
だから!

すまぬな

謝るべきは吾の方であった
ずっとずっと吾が汝を
苛んでいたのじゃな

汝といると
現在が輝きに満ちて
生を実感できた

それが嬉しくて
好ましくて
浮かれている

吾は他者のことなど
露ほども
感じ得ていなかった

なれどその輝きは
汝の心が未来と擦過する
ことで生じた刹那の火花

汝を喰むことで得ていた
独善の享樂じゃった

未来を識る吾の存在が
汝を苛むというのなら…
やはり吾は

吾はいっそ

あの昏き牢獄より
救われるべきでは
なかったのじゃろうな…！



違うリンネ!
俺の力が足りないから

俺の心が
弱いから...

だから未来を
掴めていないんだ

お前の所為じゃ
ない—

すまぬ



涙など 斯様に
益体のないものを
今さら...

今さら流すつもりは
なかったのじゃ

じゃが吾にも分からぬ...
あんなにも甘美であった
汝の手の強さも
言の葉も

今はただ
痛いばかりなのじゃ



汝の未来だけでなく
憐憫まで喰むような
吾の浅ましさを

これ以上 汝に
晒したくない

今宵は
終言にしてほしい
のじゃ...

リンネさん
王子とケンカしたでしょ



時の魔女ココロ…
部屋の前で待ち伏せとは

吾への
諫言のために
時を遡行してきたか



やだなあ

ただの
女の勘だよ



それに今の
リンネさんの顔を
見れば誰でも
分かるんじゃないかな



む

…
時が見えても
心まで 見える
わけじゃない

そんな当たり前を
ワタシは師匠の
最期まで分かって
いなかった

誤解や擦れ違い
ワタシにも経験
あるから…

放っておけなくて

時の魔女…

人の身で時に
触れるは過ぎたる業

ひとたび囚われれば
自分すら見失う闇に
擦り潰されてしまう



けどね どれだけ
時に惑ったとしても
人が還る場所は
心 なんだよ

『人はいつだって
初恋に還る』

この心の在る場所が
原風景だから

迷ったら訊いてみて
自分に 相手に

時が見えなくても
心が見えなくても
ワタシたちは想い遣る
ことが出来るのだから

…そうじゃな
汝の言う通りじゃ

時の魔女の至言
真に痛み入る

感謝する

そんな ほとんど
師匠の受け売りだし

でも それじゃあ
時の魔女として
もうひとつだけ

中庭の噴水で
待ってるといいよ
だって そこが
きっと王子にとっての



汝に救われたときの
星空が吾を照らすのじゃ

灰色の記憶の中で
幾度も焦がれた燈…

その燈が過去も
現在も 未来も

吾の心を確と浮かび
上がらせるのじゃ

汝にもあるじゃろう
愛しき原風景が
決意の記憶が

決意の記憶…

王子よ… 汝も 吾も
きっと未来の光明を探すあまり
見失っていたのじゃ

原風景という北極星を

原点なくして
星座を見つけることは
能わぬというのに

ある…
あるよ俺にも

ずっと胸に抱いて
焦がれた燈が…

初めて守りたいと思った
笑顔が…
失くしたくないと
願った時間が





そうだな

危うく俺は
未来に囚われて
過去の自分を

あの決意を見失う
ところだった
…ありがとうリンネ

礼を言わずともよい
全ては独善…

吾も あの星空を
幾度も幾星霜も
喰みたいがため



あ 愛して
おるぞ 王子…

汝を喰ませておくれ
吾に未知への道標を
刻んでおくれ



んっ やっ…

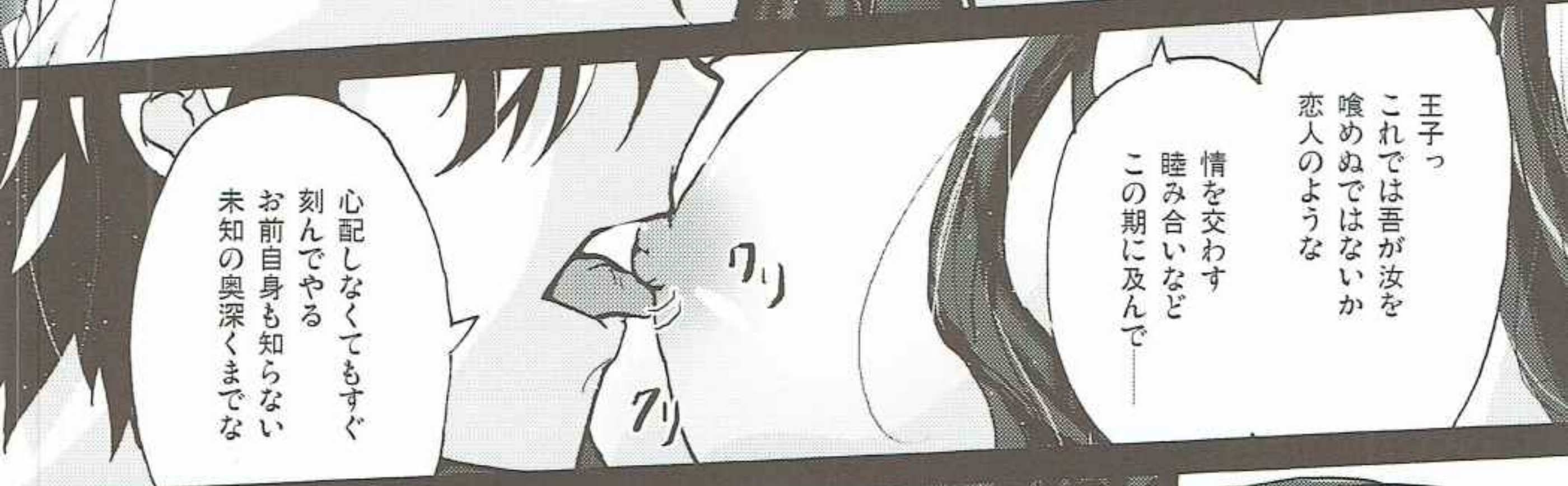
お 王子…!

待て 少し待てっ

キュ〜

キュ

チュパ



王子っ
これでは吾が汝を
喰めぬではないか
恋人のような

情を交わす
睦み合いなど
この期に及んで

ワリ

ワリ

心配しなくてもすぐ
刻んでやる
お前自身も知らない
未知の奥深くまでな



お 奥深くまで…

ははっ 意外と
リンネは直接的な
言葉に弱いな

キュッ

ピョッ

何を言われるか
何をされるのか
未来を識っているんじゃ
なかったのか?



そそれは吾が 識っては
いても 知らぬから…

吾の内に湧く情炎も
胸の高鳴りも

アユク

そうか ならもっと
内側で感じてくれ
—いくぞ



あッ

あああッ

アッアッ

キョーッ

トロッ



くっ：動くぞリンネ

あ
あ
あ



吾にもっと汝を喰ませておくれ

汝の手の強さも言の葉も今は斯くも甘美じゃ

分かったこのまま最後まで激しくするからなっ!

あ
あ
あ

そうじゃ
吾が壊れても構わぬっ

吾の心を今一度
恋い焦がしてほしいのじゃ
王子……!

んあぁあぁ

あぁあぁ



…たぶん
俺は焦っていたんだ

お前の識る未来の自分に
早く追いつきたくて
追い越さなきゃいけないくて

それに囚われて
過去の自分を蔑ろにして
しまっていたんだ

ふふ…
王子よ

星空は変わらぬ
過去も 現在も 未来も

ひとたび頂いた光は
刻を超えて灯り続ける

その輝きで
夜闇に惑う吾らを
導く道標となってくれる

未来は 心ココロに
あるのじゃ

焦らずともよい
刻は全て繋がっておる
のじゃから

Fin.

-ATOOGAKI-

お世話になっております。inoshishiです。このたびはリンネさんエッチ本をお手に取って頂き、本当にありがとうございます！ 「もっと割るのです…王子」で描いたパテルちゃん本が楽しくて、またもやエッチな本を作ってしまった！ イノシシ、エッチな本タノシイ！

既刊のあとがきで、エッチなゲームのテキストについて言及しましたが、最近のアイギスは、ときどき陰らせられるほど複雑で、語彙豊かで、技巧的な文章が見られますよね。今回の本で焦点を当てたリンネさんは、まさにその筆頭だと思います。未来を全て識っていて、識っていることしか無い人生に絶望していて、それでもいつか訪れる王子との邂逅をずっと心に灯してきたリンネさん。老成した翁のような厭世的な面と、恋に焦がれる少女のような純情な面とが、不可分に癒着した危うさを描いた好感度イベントは、何度読んでも痺れてしまいます。それだけに今回の本のネームには大変難儀しました。むずかしい！ けれど悩みながらストーリーや言葉選びを一生懸命考えたので、自分と同じくリンネさんのイベントに惚れ込んだ人にも満足してもらえたらなと思います。また今回の本でもこであったのは、やはり王子の描写です。悩める一人の青年として、王子にもテーマの片翼を担ってもらってます。今までの合同本や既刊、フリーペーパーと地続きになるよう描いたつもりです。王子は仲間達のごとが大好きで、大切に思っていて、だからこそ世界の命運と同等に仲間の未来も案じている。未来を紡ぎ繋ぐ重みを、背負い続けている。そんなふうに表示してみました。またリンネさんと王子の橋渡しとして、ココロちゃんがちょうどドンピシャ嵌まる立ち位置になってくれました。（ココロちゃんのイベントもこれまたいいのです～ ぜひ鑑賞を！）

イラストが本分なのでマンガはまだまだ上手く描けなくて、今回もリンネさんの黒髪のリヤベタはあ～でもないと～でもないと試行錯誤しましたし、線の強弱の付け方にも悪戦苦闘しました。けれどめいっぱいアイギス愛を込めたので、最後まで楽しんで読んで頂けたら幸いです！



カミラ

王子軍の甘やかせお姉ちゃん代表。その美乳はもはや歩く凶器。意外におっとりしてるようでガードは固く、ラッキースケベ防御率100%を誇る。ヒーラーだけどそういうサービスはしてないんです。ただし心を許した相手には自分から触らせてる。ただし今のところ妹と王子だけ。

イーリス

王子軍の守ってあげたい妹キャラ代表。姉に反してしっかり者だが、ガードが甘くてラッキースケベをよく許してしまう(王子限定)。あとちょっとマニアックなプレイも頼まれるとつい流されてしまう(王子限定)。守ってあげたいが弄りたい子No.1。

ラキュア

親ヒト派の吸血鬼の筆頭。悠久の時を生きているが見た目は幼女。真相なので凡そ吸血鬼らしい弱点は無い。灰になってもドッコイ復活するぞ。運命を決めた造物主への反抗として戯れに始めた親ヒト行為だが、今では結構気に入ってる。ヒトのか弱さのなんと愛いことか。紅茶もおいしいし。
血なんかよりずっと。



シビラ

王子軍の看板娘。隠せめ気品と華やかさを備えたお姫様。フラガッハを揮う勇猛な姿が目立ちがちだが、本領は国のインフラや交易ルート整備など事務仕事。平和になった後の復興計画をドドド書くのが趣味。

パテル

おんこ気質の近衛騎士。まさしく忠犬。異母姉シビラ同様、王子のことは大好きだけど、ペットとして可愛がってもらえるだけで十分と思ってる正真正銘のおんこ。野外でも全然慣れっこ。



ヒバリ

鬼に逢うては鬼を斬る。大和撫子なおにぎりガール。雅な容姿の割に思わぬ「くそっ」とか言っちゃう子。姉によく言葉遣いをたしなめられるが今一つ身に付かない。鬼斬の扱いも慣れてきたし、そろそろかっこいい必殺技名を考えたい多感なお年頃。

サフヤ

公家出身のお嬢様。琴や歌など一通りの習い事は完璧。どこに出しても恥づかしくない娘さん。実家からお見合いを勧められるが妹が心配で嫁ぐどころじゃない。いっそ姉妹で王子の処に…と本気で考え始めてる。姉の心、妹知らず。

アノナ

戦争の始まりから陰に日向に王子を支えてきた才媛。打ち首獄門や殲滅戦など恐ろしい作戦をサラッと提案する豪胆な面も。王子とは幼馴染。最近、日替わり政務官制で空いた時間で料理スキルを向上している。My×イドキャップも用意する徹底ぶり。

アリシア

近衛騎士なのに遠征任務に出されてた不遇の子。実は王子との出会いはアノナより古い。インドア派で趣味は読書。芯が強く、腕っ骨も強い子だが、情も…すごく深い。葉も恋心も、ずっと変わらず持ち続けている。大人びたアノナに比べて幼い容姿なのが最近の悩み。
ぐめめ。





ナタク

実力はあるがヤル気が伴わないサボリ魔の仙人。引きこもり暮らしが長いせいで、15秒動くと発作が起きてしまう。明日から本気出す。永く生きていたので何事にも温度は低いうえ、冷え性なので足下の紅輪が欠かせない。王子や弟子を湯たんぽにして寝るのが好き。

リーエフ

ナタクに師事する仙人見習い。思考と言葉と行動が直列繋ぎになっている。得意技は轟雷掌と電気マッサージ。初めて覚えた人の味が忘れられず、王子軍へ合流する。舐めると甘い味の蜜が出るため、王子とは共生関係にある。目下、いちばんの興味はおしべとめしべが受粉する様子の観察と実践。

リフネ

刻を詠み、輪廻を超える。業深い不幸の星の下に生まれた少女。永く幽閉の身であり、絶望と倦怠に沈みかけたこともあったが、王子と出会う未来の記憶が、燈火となって照らし続けてくれた。未来予知とも言える無比の能力を持ち、撤退戦からダンスの角に小指をぶつける事故の回避まで、応用範囲は広い。ある意味でリーエフとは真逆で、思考と言葉と行動が切り離されていて、読みづらいタイプ。やや難解な言い回しをしてしまうのは、未来に憶える語彙を先取りしているため。

生粋のコミュニケーション下手。

イメリア

姫山賊という洒落の利いた二つ名を冠する。その強さは折り紙付きで、もし王子が山賊王子であった頃に仲間入りしていたら、王城奪還は劇的に早まったであろうと今でもまごとしやかに囁かれている。だが本当の武器は、どんな荒くれ者さえ捻じ伏せるぼやんとした笑顔なのかもしれない。

アネリア

妹とは反対に、勝ち気で奔放で気っづのいい性格。初対面の者には往々に軽佻浮薄と取られるが、妹思いで祖国思いでもある。祖国の民の魂を宿し、妹を守る冥斧ファスケスに祈りを捧げるのが毎朝の秘密の日課。もちろん妬かれないように、ブリューナクハモ。



ココロ

時を移動する魔法を扱う最強格の魔女…なのだがあまりその風格はない。むしろ夜更かしてしまい朝寝坊する典型的な不健康タイプ。ニワトリ型帽子のコッコちゃんをゴーレム化して目覚ましにする試みもあったが、コッコちゃんと深夜まで遊んでしまい本末転倒となってしまった。色々とルーズだが、亡き師匠の教えを頑なに守っている。決め台詞は「お師匠様が言っていた…」(天に指をかざし)

王子

来たぞ我らが英雄王子。かつての千年戦争を終結させた王の末裔。絶倫王子の異名を持つ。神器を装備すれば雄々しく、敵味方問わず慈悲深く、夜は鬼畜。そのギャップも仲間達には好意的に受け容れられている。最近模様替えがあったが、豪華すぎて慣れない。





ino
鍋亭

inoshishi

Adult
R18 only